

# 自然散策マップ

のどかな田園を歩く

## 古和釜・金堀コース

水田沿いののどかな風景を散策するコースです。水田以外にも神社や寺、照葉樹林などが楽しめます。

### A6 東光寺



広く静かな境内では、ケヤキ、イチヨウなどの大木が見られます。東光寺の裏道に沿って歩くと、早春にはヤブツバキ、初夏にはガマズミの花が、秋には真っ赤な小さな実をたくさんつけたガマズミの実も見られます。



ニホンアマガエル

水辺や付近に水辺のある森林などで見かけられます。背中が黄緑色ですが、環境に応じて色を変えることができ、灰褐色になっていることもあります。鼻から体の側面にかけて褐色の色の帯ができることで、他のカエルと見分けがつきます。カエルは繁殖期によく鳴きますが、アマガエルは「雨蛙」の名前の通り、雨が降りそうになると繁殖期でなくとも鳴きます。

- ・ゴミは持ち帰りましょう。
- ・動植物を大切にしましょう。
- ・社寺等の敷地に立ち入る場合は、施設や他の利用者に迷惑をかけないようにしましょう。
- ・ヘビやハチに注意しましょう。

### 4 照葉樹林と田の広がる道



北側の斜面林には、スダジイ、シラカシ、シロダモなどの照葉樹林が広がります。また、南側には、木戸川沿いに水田が広がり、ニホンアマガエルなどのカエルの仲間や秋には黄金色に染まった水田が楽しめます。

北側の斜面林には、スダジイ、シラカシ、シロダモなどの照葉樹林が広がります。また、南側には、木戸川沿いに水田が広がり、ニホンアマガエルなどのカエルの仲間や秋には黄金色に染まった水田が楽しめます。



春の七草のひとつで、「ホトケノザ」とも呼ばれます。シソの仲間にも「ホトケノザ」と呼ばれる植物がありますが、こちらとは別の植物です。湿地を好み、田や周囲のあぜ道などに多く生え、春先までは、葉を広げて地面にはいつくばった姿ですが、春になって暖かくなると葉が起きあがり、黄色の花が咲きます。

### 2 桑納川沿いの道



桑納川沿いの土手と畦道には、春の七草であるセリ、ナズナ、ハハコグサ（ゴギョウ）、ホトケノザ（コオニタビラコ）、ハコベラなどたくさん

の野草が見られます。また、コサギ、アオサギなどの水鳥も見られ、運がよければ周辺の畑でノウサギの足跡が見られることもあります。



### B6 八王子神社



境内は、スギ、ヒノキ、サワラなどの人工林にモミ、スダジイ、アカガシ、コナラ、アカシデの大木が混じる豊かな森となっており、千葉県自然環境保全条例に基づく郷土環境保全地域にも指定されています。ヒトリシズカ、ヤマユリ、アキノタムラソウなどの野草やヒヨドリ、モズ、ウグイス、シジュウカラなどの野鳥も多く見られます。

### コース 全長 2.9~3.7km

1 金堀バス停	1180m
2 桑納川沿いの道	110m
3 金堀橋	
4 照葉樹林と田の広がる道	900m
5 水神橋	
Aコース	Bコース
A6 東光寺	B6 八王子神社
	700m
7 古和釜十字路バス停	1500m